

「木育(もくいく)」とは?

豊かな森林と木材に恵まれた北海道生まれの新しい言葉です。

それは、子どもをはじめとするすべての人が

木を身近に使っていくことを通じて

人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる

豊かな心を育むことです。

木とふれあい、
木に学び、
木と生きる。

「木育」は つながりのキーワード

- 身近な木や木のモノから
「人と森のつながり」を考える
- 家庭や学校、地域の中から
「木と森のつながり」を見つけ
新しいつながりをつくる
- みんなが取り組んでみたくなる
木育の活動を通じて
「人と人とのつながり」を生み出す

「木育」のめざすもの

●五感とひびきあう感性

木と五感でふれあい、手づくり、考える経験をとおして
人や自然に対する「思いやり」と「やさしさ」を育みます。

●共感できる心

身近な人と木で遊び、木に学び、モノをつくる体験を通じて
楽しさや喜びを共感し、地域や社会、産業への関心につなげます。

●地域の個性を生かした木の文化

地域の森や木の良さを見直し、木が身近にある北海道なら
ではの暮らしや文化を提案します。

●人と自然が共存できる社会

循環利用が可能な資源である木の可能性や、森や木に携
わる仕事の素晴らしさを伝え、持続可能な未来へ向けた
社会をめざします。

「木育」をささえる木と森

- 木はさまざまな形で、家庭や地域、
社会経済に大きな恩恵をもたらします。
- 森は水源涵養、二酸化炭素の吸収など
環境に不可欠な機能を発揮します。

私たちのまわりでは一枚の紙から家具や建物にいたるまで
木から生まれたものがたくさん使われています。

でも、材料となった木やその木が生きていた森を
想像できる人はどれだけいるのでしょうか?

木育は木とのかかわりを通して、私たちも自然の一部であり
多くの生命と共存しながら生きていることを実感し
未来につなげていく取り組みです。

木とふれあい、
木に学び、
木と生きる。

「木育」は平成16年度、道と道民による
「木育推進プロジェクトチーム」において、
検討された新しい言葉です。

●木育ファミリー

木育ファミリーは木育推進プロジェクトのメンバーが
中心となり2005年4月に発足した民間の組織です。
各分野と協力して木育をすすめる取り組みをおこなっています。

E-mail: family@mokuiku.net

[木育ファミリーのホームページ]

http://www.mokuiku.net



Mokuiku Family